

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成23年2月10日

【四半期会計期間】 第35期第3四半期  
(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

【会社名】 株式会社ショクブン

【英訳名】 SHOKUBUN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川瀬 公

【本店の所在の場所】 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

【電話番号】 052(773)1011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 田野 光夫

【最寄りの連絡場所】 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

【電話番号】 052(773)1011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 田野 光夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第34期 前第3四半期 連結累計期間	第35期 当第3四半期 連結累計期間	第34期 前第3四半期 連結会計期間	第35期 当第3四半期 連結会計期間	第34期
会計期間	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 10月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日
売上高 (千円)	8,293,201	8,200,506	3,097,582	3,046,507	10,884,359
経常利益 (千円)	200,906	112,039	247,751	183,397	228,650
四半期(当期)純利益 (千円)	88,918	11,764	139,247	108,452	93,915
純資産額 (千円)			3,251,593	3,165,116	3,260,928
総資産額 (千円)			10,709,741	10,694,907	10,850,888
1株当たり純資産額 (円)			292.42	284.71	293.30
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	8.00	1.06	12.52	9.76	8.45
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)					
自己資本比率 (%)			30.36	29.59	30.05
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	402,282	230,869			412,019
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	217,966	118,807			524,992
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	461,651	232,148			605,016
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			1,643,421	1,369,409	1,489,496
従業員数 (名)			872	881	860

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第34期第3四半期連結累計期間、第35期第3四半期連結累計期間、第34期第3四半期連結会計期間、第35期第3四半期連結会計期間及び第34期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 例年第3四半期連結会計期間は、年末特有の「おせち」特売商品売上があるため、それ以外の四半期連結会計期間に比べ売上高が多くなる傾向があります。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年12月31日現在

従業員数(名)	881(102)
---------	----------

- (注) 1. 従業員数は就業人員であります。  
2. 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員（1日7.5時間換算）であります。

### (2) 提出会社の状況

平成22年12月31日現在

従業員数(名)	870(101)
---------	----------

- (注) 1. 従業員数は就業人員であります。  
2. 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員（1日7.5時間換算）であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

当社グループは食品事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況をセグメント情報に関連付けて記載することに代えて、商品別に記載しております。

#### (1) 仕入実績

当社グループは生産活動を行っておりませんので、生産実績に代えて、仕入実績を記載しております。当第3四半期連結会計期間における仕入実績を商品別に示すと、次のとおりであります。

商品別	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
メニュー商品	1,161,684	103.6
特売商品	294,088	107.2
合計	1,455,772	104.3

(注) 1. 金額は、仕入価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を商品別に示すと、次のとおりであります。

商品別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
メニュー商品		
レギュラーメニュー	2,414,070	97.3
ヘルシーメニュー	124,163	97.0
小計	2,538,234	97.3
特売商品	501,175	104.5
業務用商品	7,098	83.5
合計	3,046,507	98.4

(注) 1. 業務用商品の内容はメニュー商品と同様であり、上記の(1)仕入実績においてはメニュー商品に含めておりません。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等を行われておりません。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### (1) 経営成績の分析

当社グループでは、お客様の健康を第一に考え、安全で安心のできる美味しい食材をご家庭へお届けすることを経営の基本にして、販売促進活動に取り組んでおります。

今日のわが国経済は、新興国市場の需要拡大に伴う輸出の増加等により、一部では、景気に緩やかな回復が見られるようになりましたが、その一方で、国内の雇用情勢は相変わらず厳しく、円高の長期化やデフレの進行等により、景気の先行きに対する不透明感を払拭できない状況が続いております。

当社グループが属する食品業界におきましても、これらの厳しい国内情勢を背景に、消費者の節約意識を反映して、業態の枠を超えた低価格競争が継続しておりますが、当社グループは、メニュー冊子をリニューアルし、見やすい紙面で商品の魅力をお伝えするとともに、お客さまに豊富なメニューを提供できるよう献立の作成に努めました。その結果、主力のレギュラーメニュー売上高が24億14百万円（前年同四半期比97.3%）になりました。一方で、年末商戦に力を注ぎ、魅力的な商品をお手頃な価格でお届けできるよう販売企画をした結果、特売商品売上高が、年末の「クリスマス」特売、「おせち」特売と合わせて5億1百万円（前年同四半期比104.5%）になりました。

他方、生産効率を向上させるために生産体制の改善を行うことで、コストの削減に努めましたが、今夏の猛暑、豪雨等の天候不順により生鮮野菜等の仕入価格が高騰した影響もあり、売上原価率は58.4%と前年同四半期に比べ2.5ポイント増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高は30億46百万円（前年同四半期比98.4%）、経常利益は1億83百万円（前年同四半期比74.0%）になりました。また、繰延税金資産の取崩しを行ったことで、法人税等調整額が59百万円発生したこともあり、四半期純利益は1億8百万円（前年同四半期比77.9%）になりました。

なお、当第3四半期連結会計期間より、インターネットを利用した通販事業を開始いたしました。この通販事業はショクブンオリジナル商品33品目を「楽しく市場」の店名でスタートしました。今後は、アイテム数を増やすなど、さらなる改善を行い、通販事業の構築に努めてまいります。

##### (2) 財政状態の分析

資産の部では、前連結会計年度末に比べ有形固定資産が50百万円増加しましたが、現金及び預金が1億20百万円、繰延税金資産が51百万円、投資有価証券が28百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少の106億94百万円になりました。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が1億38百万円増加しましたが、社債（1年内償還予定の社債を含む。）が1億9百万円、未払法人税等が98百万円、賞与引当金が91百万円それぞれ減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ60百万円減少の75億29百万円になりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が82百万円減少したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ95百万円減少の31億65百万円になりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ1億79百万円増加（前年同四半期は4億38百万円の増加）し、13億69百万円になりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間において営業活動の結果増加した資金は4億14百万円（前年同四半期は4億71百万円の増加）になりました。これは、前受金の減少額57百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益1億79百万円の計上や仕入債務の増加額1億98百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は4百万円（前年同四半期は69百万円の減少）になりました。これは、有形固定資産の取得による支出12百万円等がありましたが、差入保証金の回収による収入6百万円等により、資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間において財務活動の結果減少した資金は2億29百万円（前年同四半期は36百万円の増加）になりました。これは、短期借入金の返済による支出1億45百万円、配当金の支払38百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の総額は、8百万円であります。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更及び重要な設備計画の完了はありません。また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成22年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,856,669	11,856,669	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	11,856,669	11,856,669		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年12月31日		11,856,669		1,148,010		611,806

#### (6) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないことから、記載することができませんので、直前の基準日である平成22年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成22年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 739,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,617,000	10,617	
単元未満株式	普通株式 500,669		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	11,856,669		
総株主の議決権		10,617	

【自己株式等】

平成22年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ショクブン	名古屋市守山区向台 三丁目1807番地	739,000		739,000	6.23
計		739,000		739,000	6.23

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	615	606	609	603	620	599	590	560	565
最低(円)	588	569	584	585	590	574	540	530	539

(注) 東京証券取引所市場第二部における株価を記載しております。

### 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

#### (1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
常務取締役	第1営業本部長 三重支社長兼大阪支社長	仲尾 孝司	平成22年7月30日
常務取締役		小林 隆	平成22年7月30日
取締役	岐阜支社長	渡邊 万三男	平成22年7月30日

#### (2) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役社長 (代表取締役)	取締役会長兼社長 (代表取締役)	川瀬 公	平成22年7月30日
常務取締役 (仕入製造本部長 フレッシュセンター長)	常務取締役 (仕入製造本部長)	熊谷 勝利	平成22年7月6日
常務取締役 (営業本部長愛知支社長)	常務取締役 (第2営業本部長愛知支社長)	三輪 要次	平成22年7月30日
常務取締役 ( )	常務取締役 (商品本部長 フレッシュセンター長)	小林 隆	平成22年7月6日

## 第5 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,745,018	1,865,602
受取手形及び売掛金	22,115	21,929
原材料及び貯蔵品	97,096	98,447
繰延税金資産	47,296	87,208
その他	69,819	32,192
貸倒引当金	122	122
流動資産合計	1,981,224	2,105,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,628,822	1,606,035
土地	5,797,945	5,797,945
その他(純額)	277,822	250,530
有形固定資産合計	7,704,590	7,654,511
無形固定資産	52,535	57,624
投資その他の資産		
投資有価証券	273,448	301,506
繰延税金資産	43,473	54,901
その他	670,710	708,160
貸倒引当金	31,075	31,075
投資その他の資産合計	956,557	1,033,493
固定資産合計	8,713,682	8,745,629
資産合計	10,694,907	10,850,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	572,723	433,915
短期借入金	1,350,000	1,325,000
1年内返済予定の長期借入金	1,053,400	1,202,655
未払法人税等	10,420	109,382
賞与引当金	51,116	142,800
その他	784,772	729,575
流動負債合計	3,822,433	3,943,328
固定負債		
社債	263,000	387,000
長期借入金	3,271,954	3,124,125
退職給付引当金	2,483	546
資産除去債務	22,375	-
その他	147,545	134,960
固定負債合計	3,707,357	3,646,631
負債合計	7,529,791	7,589,960

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,616,944	1,616,944
利益剰余金	895,514	978,249
自己株式	448,350	447,720
株主資本合計	3,212,117	3,295,483
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,001	34,554
評価・換算差額等合計	47,001	34,554
純資産合計	3,165,116	3,260,928
負債純資産合計	10,694,907	10,850,888

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,293,201	8,200,506
売上原価	4,745,191	4,791,567
売上総利益	3,548,009	3,408,939
販売費及び一般管理費	1 3,267,217	1 3,221,822
営業利益	280,792	187,116
営業外収益		
受取利息	1,913	6,032
受取配当金	2,881	4,507
受取保険金	728	356
受取手数料	6,174	7,277
受取地代家賃	4,198	-
受取賃貸料	-	3,428
その他	2,628	3,130
営業外収益合計	18,525	24,732
営業外費用		
支払利息	70,389	83,550
有価証券運用損	21,527	-
投資有価証券運用損	-	12,907
その他	6,493	3,353
営業外費用合計	98,410	99,810
経常利益	200,906	112,039
特別利益		
賞与引当金戻入額	-	11,909
特別利益合計	-	11,909
特別損失		
固定資産除却損	12,019	4,158
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	11,404
投資有価証券評価損	-	484
ゴルフ会員権償還損	-	3,000
特別損失合計	12,019	19,046
税金等調整前四半期純利益	188,887	104,901
法人税、住民税及び事業税	76,728	33,386
法人税等調整額	23,240	59,749
法人税等合計	99,968	93,136
少数株主損益調整前四半期純利益	-	11,764
四半期純利益	88,918	11,764

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,097,582	3,046,507
売上原価	1,730,838	1,778,914
売上総利益	1,366,743	1,267,593
販売費及び一般管理費	1,096,612	1,065,674
営業利益	270,131	201,919
営業外収益		
受取利息	524	2,162
受取配当金	1,459	2,290
受取保険金	111	-
受取手数料	1,946	2,842
受取地代家賃	1,967	-
受取賃貸料	-	1,156
その他	503	1,888
営業外収益合計	6,513	10,338
営業外費用		
支払利息	26,326	28,221
その他	2,567	639
営業外費用合計	28,893	28,860
経常利益	247,751	183,397
特別損失		
固定資産除却損	1,246	141
投資有価証券評価損	-	484
ゴルフ会員権償還損	-	3,000
特別損失合計	1,246	3,626
税金等調整前四半期純利益	246,505	179,771
法人税、住民税及び事業税	52,635	12,300
法人税等調整額	54,621	59,017
法人税等合計	107,257	71,318
少数株主損益調整前四半期純利益	-	108,452
四半期純利益	139,247	108,452

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	188,887	104,901
減価償却費	146,393	161,987
長期前払費用償却額	593	593
賞与引当金の増減額(は減少)	74,200	91,684
前払年金費用の増減額(は増加)	-	13,594
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,790	1,936
受取利息及び受取配当金	4,794	10,540
支払利息	70,389	83,550
社債発行費償却	4,269	-
有価証券運用損益(は益)	21,527	-
投資有価証券運用損益(は益)	-	12,907
固定資産除却損	9,719	4,158
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	11,404
投資有価証券評価損	-	484
ゴルフ会員権償還損	-	3,000
売上債権の増減額(は増加)	2,984	186
たな卸資産の増減額(は増加)	18,327	1,351
仕入債務の増減額(は減少)	122,307	138,808
前受金の増減額(は減少)	96,414	73,432
未払消費税等の増減額(は減少)	10,300	7,134
その他の流動資産の増減額(は増加)	20,493	24,658
その他の流動負債の増減額(は減少)	109,020	99,531
小計	517,607	430,572
利息及び配当金の受取額	4,362	8,195
利息の支払額	62,122	80,473
法人税等の支払額	57,564	127,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	402,282	230,869
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	10,968	101,831
定期預金の払戻による収入	25,386	100,528
有形固定資産の取得による支出	196,916	121,017
無形固定資産の取得による支出	918	-
投資有価証券の取得による支出	51,810	9,139
投資有価証券の償還による収入	11,220	2,950
その他	6,041	9,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,966	118,807

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	609,000	25,000
長期借入れによる収入	1,850,000	935,000
長期借入金の返済による支出	665,760	936,426
社債の発行による収入	195,731	-
社債の償還による支出	135,000	109,000
リース債務の返済による支出	28,937	51,907
自己株式の増減額(は増加)	1,372	629
配当金の支払額	144,009	94,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	461,651	232,148
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	645,967	120,087
現金及び現金同等物の期首残高	997,453	1,489,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,643,421	1,369,409

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は1,062千円減少し、税金等調整前四半期純利益は12,466千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は22,138千円であります。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	<p>1. 前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「受取地家賃」として表示されていたものは、前連結会計年度との比較可能性の向上のため、当第3四半期連結累計期間においては、営業外収益の「受取賃貸料」として表示しております。</p> <p>2. 前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「有価証券運用損」として表示していたものは、明瞭性の観点から、当第3四半期連結累計期間においては、営業外費用の「投資有価証券運用損」として表示しております。</p> <p>3. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間においては、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	<p>前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「有価証券運用損益(は益)」として表示していたものは、明瞭性の観点から、当第3四半期連結累計期間においては、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券運用損益(は益)」として表示しております。</p>

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
(四半期連結貸借対照表関係)	<p>前第3四半期連結会計期間において、区分掲記しておりました「のれん」(当第3四半期連結会計期間4,279千円)は、資産の総額の1/100以下であり、「その他」(当第3四半期連結会計期間48,255千円)は、資産の総額の10/100以下であるため、当第3四半期連結会計期間においては、「無形固定資産」に総額で表示しております。</p>
(四半期連結損益計算書関係)	<p>1. 前第3四半期連結会計期間において、営業外収益の「受取地家賃」として表示されていたものは、前連結会計年度との比較可能性の向上のため、当第3四半期連結会計期間においては、営業外収益の「受取賃貸料」として表示しております。</p> <p>2. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間においては、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,607,229千円 であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,452,725千円 であります。

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
販売促進費 289,506 千円	販売促進費 284,326 千円
給料及び手当 1,687,815 千円	給料及び手当 1,663,072 千円
賞与引当金繰入額 58,350 千円	賞与引当金繰入額 38,416 千円
退職給付費用 45,257 千円	退職給付費用 51,113 千円
福利厚生費 264,691 千円	福利厚生費 273,411 千円
減価償却費 99,075 千円	減価償却費 114,467 千円
燃料水道光熱費 117,292 千円	燃料水道光熱費 130,610 千円

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
販売促進費 97,790 千円	販売促進費 95,672 千円
給料及び手当 531,397 千円	給料及び手当 532,488 千円
賞与引当金繰入額 58,350 千円	賞与引当金繰入額 38,416 千円
退職給付費用 15,126 千円	退職給付費用 17,020 千円
福利厚生費 87,644 千円	福利厚生費 90,902 千円
減価償却費 35,589 千円	減価償却費 39,745 千円
燃料水道光熱費 38,862 千円	燃料水道光熱費 41,599 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在)
現金及び預金 2,019,008 千円	現金及び預金 1,745,018 千円
預入期間が3か月超の定期預金 375,587 千円	預入期間が3か月超の定期預金 375,609 千円
現金及び現金同等物 1,643,421 千円	現金及び現金同等物 1,369,409 千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第3四半期連結会計期間末
普通株式(株)	11,856,669

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第3四半期連結会計期間末
普通株式(株)	739,723

3. 新株予約権等の四半期連結会計期間末残高

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	55,590	5	平成22年3月31日	平成22年6月30日
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	利益剰余金	38,910	3.5	平成22年9月30日	平成22年11月30日

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

同一セグメントに属する「食品事業」を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

**【所在地別セグメント情報】**

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

**【セグメント情報】**

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## (1株当たり情報)

## 1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
284.71円	293.30円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,165,116	3,260,928
資産の部の合計額から控除する金額(千円)		
普通株式に係る四半期連結会計期間末(連結会計年度末) の純資産額(千円)	3,165,116	3,260,928
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期連結会計 期間末(連結会計年度末)の普通株式の数(株)	11,116,946	11,118,004

## 2. 1株当たり四半期純利益等

## 第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益 8.00円	1株当たり四半期純利益 1.06円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(千円)	88,918	11,764
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	88,918	11,764
普通株式の期中平均株式数(株)	11,121,348	11,117,247

## 第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益 12.52円	1株当たり四半期純利益 9.76円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(千円)	139,247	108,452
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	139,247	108,452
普通株式の期中平均株式数(株)	11,120,835	11,116,946

(重要な後発事象)

当第3四半期連結会計期間  
(自平成22年10月1日  
至平成22年12月31日)

当社は、平成23年1月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

(2) 取得の内容

- |              |   |  |
|--------------|---|--|
| 1. 取得する株式の種類 | : | 当社普通株式                                 |
| 2. 取得する株式の総数 | : | 90,000株(上限)                            |
| 3. 取得価額の総額   | : | 51,930千円(上限)                           |
| 4. 取得日       | : | 平成23年2月1日                              |
| 5. 取得の方法     | : | 東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付 |

(3) その他

上記市場買付による取得の結果、当社普通株式90,000株(取得価額51,930千円)を取得いたしました。

2 【その他】

平成22年10月29日開催の取締役会において、第35期の中間配当を次のとおり行うことを決議しております。

中間配当金の総額	38,910,033円
1株当たりの中間配当金	3円50銭
支払請求権の効力発効日及び支払開始日	平成22年11月30日

(注) 平成22年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主もしくは登録株式質権者に対して、支払を行うものであります。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 1月27日

株式会社ショクブン  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 倉 平 五 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショクブンの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショクブン及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月4日

株式会社ショクブン  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石倉 平 五 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショクブンの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショクブン及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。